

第1回策定委員会からの主な変更点 (スポーツ分野)

1 【基本目標1】 リード文

意見：【基本目標1】では、少年期のスポーツ活動の充実を図ることと、競技スポーツの向上の2点を目標・基本施策に組み込んでいるが、競技スポーツの面が強く出ているので、バランスをとるとよい。

対応：スポーツを通して夢や目標をもって挑戦することが、健全な心や身体を養う上で大切であることや、トップアスリートのパフォーマンスは子どもに憧れをもたせ新たな目標づくりに寄与する趣旨の文章に、加筆・修正をした。

修正前	修正後
<p>トップアスリートのパフォーマンスは、観る者に夢や感動を与える力があります。</p> <p>(後段略)</p>	<p><u>スポーツを通して、自分の夢や目標をもち、それに向かって努力し挑戦することは、健全な身体や精神を養う上で重要な役割を果たします。</u></p> <p><u>特に、トップアスリートのパフォーマンスは、みる者に夢や感動を与える力があり、憧れをもった子どもは、将来自分もそんな選手になりたいと、新たな夢や目標をもつことができます。</u></p> <p>(後段略)</p>

2 【基本目標1】 基本施策(2)

意見：「スポーツ少年団活動」では、範囲が狭い。「少年期のスポーツ活動」として、広く働きかけられる内容をお願いしたい。

対応：「少年期のスポーツ活動の充実」として、より広範囲に働きかけができる文章に修正し、地域や保護者の理解を深める内容の文章を加筆した。

修正前	修正後
<p>(2) スポーツ少年団活動の充実</p> <p>スポーツ少年団への入団を促進して、スポーツをすることが好きな子どもの増加を図るとともに、小中学生スポーツ活動実施率の向上を目指します。</p>	<p>(2) <u>少年期のスポーツ活動の充実</u></p> <p><u>スポーツをすることが好きな子どもの増加を図るため、少年期のスポーツ団体の活動を広く周知するなど、スポーツ少年団をはじめ、スポーツ団体への加入を促進します。</u></p> <p><u>また、広報誌等を通して子どもがスポーツに取り組むことの大切さについて地域</u></p>

修正前	修正後
	<u>や保護者の理解を深めるとともに、幼少期から少年期までのスポーツ活動の在り方について検討します。</u>

3 【基本目標2】 基本施策(1)

意見：スポーツの指導者数を確保するとともに、質を向上させることも大切である。何より、「スポーツ界の暴力・暴言の根絶」を位置づけてもらいたい。

対応：「スポーツ界の暴力・暴言の根絶」という否定の表現は避け、「人間の尊厳や人との絆を、スポーツを通して正しく指導できる指導者の育成」という強い肯定で表現した。

修正前	修正後
(1) スポーツを支える担い手作り 生涯スポーツや競技スポーツ、子どものスポーツ活動などを支える指導者の育成と確保を図るため、日本体育協会公認指導者資格やスポーツ少年団認定育成員資格等の取得を推進します。 (後段略)	(1) スポーツを支える担い手づくり <u>人間の尊厳や人との絆を、スポーツを通して正しく指導できる指導者の育成と確保を図るため、日本スポーツ協会公認指導者資格等の取得を推進するとともに、講習会や研修会を開催します。</u> (後段略)

4 【基本目標4】 リード文

意見：【基本目標1～3】のリード文では、「スポーツには〇〇という力があります」という内容があるのに対し、【基本目標4】にはない。バランスをとるとよい。

対応：「スポーツには、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆を深める力がある」という趣旨の文章を加筆した。

修正前	修正後
	<u>スポーツは私たち人類が生み出した貴重な文化であり、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆を深める力があります。</u> (後段略)